

## 競 技 注 意 事 項

1. 本競技会は2021年日本陸上競技連盟規則と本大会申し合わせ事項によって行い、大阪高校総体(中央大会)出場者の決定は、葦音140・141号192・193頁の記載通りに行う。

選手は競技開始2時間前より競技場に入場することができる。ただし、開場から2時間以内に競技開始となる種目については、競技者係の入場受付準備が整い次第の入場とする。

本大会は無観客で行う。

競技中以外はマスクを常時着用すること。(競技前などについては競技役員からの指示に従うこと)

2020年12月より改定されたWAのシューズ規則が適用され、靴底の厚さは下記の表のとおりとし、一次招集時にスパイクチェックと同様にシューズ計測を行う。

【靴底の厚さに関する規定(TR5.13.3) 表】

種 目	靴底最大の厚さ TR5.5、TR5.13.3	要 件 ・ 備 考
フィールド競技(除:三段跳)	20mm	投てき種目と三段跳を除く跳躍種目に適用する。 全フィールド種目で、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
三段跳	25mm	靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
トラック種目 (ハードル種目を含み、800m 未満の種目)	20mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。
トラック種目 (障害物競走を含み、800m 以上の種目)	25mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。 (競技場内で行う競歩競技の靴底の最大の厚さは40mm)
競技場内で行う競歩	40mm	
道路競技(競走・競歩)	40mm	

※ただし、フィールド競技用シューズについては、上記の規定適用を除外する。

### 2. 招集 (コール) について

(1) 競技開始2時間前～1時間前(棒高跳のみ1時間30分前)に「健康状態申告兼体調管理チェックシート」をメインスタンド下室内練習場内に設ける受付場所にて提出し、スパイクとアスリートビブスの確認を受け、トラック種目は腰ナンバーカードを受け取ることで一次招集完了とし、現地で二次招集を行う。なお、100mの決勝レースについては、現地コール時に腰ナンバーカードを配布する。

(2) 二次招集(現地)時間は以下のとおりとする。

招 集 時 間	ト ラ ッ ク	跳 躍	投 て き	棒 高 跳
開 始 時 刻	1 5 分 前	5 0 分 前	5 0 分 前	7 0 分 前
完 了 時 刻	1 0 分 前	4 0 分 前	4 0 分 前	6 0 分 前

※トラック種目の現地集合は、密を避けるため、競技開始20分前にする

また、競技前練習は密を避けるために競技役員からの指示に従うこと。

(3) 一次招集・二次招集(現地)に遅れた競技者は欠場したものとして処理する。

(4) 欠場する場合(受付後に欠場することになった場合も含む)は、欠場届を競技開始60分前までに競技者係へ必ず提出すること。  
(用紙はHPにあるものをダウンロードして利用する)

(5) 多種目を同時刻に兼ねて出場する競技者は、事前に本人が招集所にある「多種目同時出場届」に必要事項を記入し、60分前までに競技者係へ提出すること。その場合に限り現地招集での代理人点呼を認める。

(6) リレーのオーダー用紙は、**第1組の競技開始の90分前まで**に競技者係に提出すること。  
(用紙はHPにあるものをダウンロードして利用する)

(7) 多種目同時出場届・欠場届は招集開始時刻までに招集所の競技者係まで提出すること。

### 3. アスリートビブス 必ず胸部と背部につけること。ただし、跳躍競技は胸部または背部だけでよい。

トラック種目では腰ナンバーカードをパンツの右側やや後方に付けること。

なお、腰ナンバーカードは主催者側で準備する。

#### 4. 運営方法について

- (1) トラック種目では、1000mは各学年男女各4組32名で決勝を行う。それ以外の種目はタイム決勝とする。  
1000m予選では1着+αの32名で決勝を行う。  
1000m予選で32番目の記録が、1/100秒まで同タイムの時は、1/1000秒の単位で判定する。それでも判定できない時は抽選とする。
- (2) 800mは原則として1レーン2名でスタートし、120mでオープンとする。
- (3) 競技運営上、ラスト1周で5000mは18分30秒、3000mは13分30秒、3000mSCは13分00秒、を越える選手はトラック審判長が競技を打ち切る。競歩種目においてはラスト1周で男子5000mWでは35分、女子5000mWでは39分をこえる選手は競歩主任が競技を打ち切る。
- (4) 男子5000m・女子3000mはグループスタートで行い、120mでオープンとする。
- (5) バーの上げ方
 

走高跳	男子2年	1.55-1.60-1.65-1.70-1.75-1.80	以降3cmずつ
	男子1年	1.50-1.55-1.60-1.65-1.70-1.75-1.80	以降3cmずつ
	女子2年	1.25-1.30-1.35-1.40-1.45-1.50	以降3cmずつ
	女子1年	1.20-1.25-1.30-1.35-1.40-1.45-1.50	以降3cmずつ
棒高跳	男子1・2年とも	2.60-2.80-3.00-3.20-3.40-3.60	以降10cmずつ
	女子1・2年とも	2.00	以降10cmずつ

※走高跳・棒高跳ともに練習の高さは当日現地で決定する。
- (6) 高さ競技を除くフィールド競技においては、トップ8を行う。
- (7) 走幅跳・三段跳におけるカットラインは当日に跳躍審判長と主任で決定する。
- (8) 投てき競技はすべてフィールド内で行う。いずれの種目の投てき練習も競技場所に入ってから審判員の指示に従って行うこと。これ以外の投てき練習は禁止する。
- (9) 各自が持参した投てき用やりは検定を受けて使用する。(競技開始90分前から60分前までに器具庫前に持参すること。
- (10) 投てき競技の滑り止めについては、主催者は準備しないので、個人で持参すること。
- (11) フィールド競技の試技制限時間

#### 単独種目

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上※	1分	1分	1分
2~3人	1分30秒	2分	1分
1人	3分	5分	—
連続試技※※	2分	3分	2分

※4人以上または各競技者の最初の競技

※※走高跳・棒高跳では、残っている競技者が二人以上で、同一の高さの時のみ適用する。

#### 5. 表彰 各種目6位まで賞状がある。

決勝がある1000mの表彰は順位優先とし、各組1位の者を記録順に1位から4位として、各組2位の4名のうちから記録上位2名を5位・6位とする。リレーの賞状は1校5枚とする。

#### 6. 補助員

大会総務より事前に依頼する。

なお、当日の集合時間については、大阪高体連陸上競技専門部 web に掲載する。

#### 7. その他

- (1) 競技会開始前及び競技中のトラックでの練習については、次のレーン区分を守り、周囲の動きに十分注意して行うこと。  
両日とも朝のトラック練習は8:30までとする。

##### 【1日目 7月22日(木)】

長距離用周回練習(ジョグも含む):1・2レーン

直線での短距離練習:ホームストレート 4・5・6・7レーン

コーナーからの短距離練習:バックストレート 4・5・6・7レーン

※バトンパス練習は控えること。

## 【2日目 7月23日(金)】

長距離用周回練習(ジョグも含む):1・2レーン

直線での短距離練習:ホームストレート6・7・8レーン

コーナーからの短距離練習:ホームストレート 3・4・5レーン

400mHの練習:女子は5・6レーン 男子は7・8レーン、

練習では余裕をもって長めに走り、戻りには十分に安全確認をすること。

### 【競技中のトラック練習】

※ホームストレートのみを使用してトラック競技が行われている際は、バックストレートを練習スペースとして開放する。

ただし、投てき競技や跳躍競技の進行の妨げにならないように留意すること。

(必要に応じて、競技役員により使用可能区域を制限する)

※22日(木)・23日(金)両日もサブグラウンドはアップ場として開放する。

- (2) 競技者としてのマナーを守る。本部前は生徒の通行は原則禁止。ゴール後は本部前を通らないこと。  
また、トラック周囲を通行することは競技の妨げになるので、スタンド通路を通行すること。
- (3) フィールド芝生内への立ち入りは競技役員、補助員のみとする。
- (4) ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技区域内で所持または使用してはいけない。
- (5) メインスタンドには部旗等を掲げない。テントはメインスタンドおよびバックスタンド中段通路より上で、屋根のない所に設置する。
- (6) 貴重品・私物の管理は各校で責任を持つこと。盗難には十分に注意すること。
- (7) ケガ人が出た場合、本部で応急手当は行いますが、その後は各校顧問で処置して下さい。
- (8) ゴミはすべて持ち帰ること。
- (9) 駐輪禁止:点字ブロック周辺・正面階段前には自転車を止めないこと。
- (10) 付き添い者(マネージャー等)についての入場人数は、参加人数が1~9人の場合は1人、10~19人は2人、以降10人ごとに1人入場することができる。受付時に体調管理チェックシートを提出し、入場許可証を受け取ること。  
(再入場の際必要)
- (11) ハードル競技の準備・撤収については、審判業務中でない競技役員も補助員ともに行う。
- (12) 本大会の結果については、ラウンドおよび上位大会進出に関わるものを除き、掲示は行わない。  
大阪高体連陸上競技専門部 web に随時アップデートするため、各自確認すること。

## 第76回大阪高等学校総合体育大会陸上競技の部(中央大会)について

1. 地区予選会(今大会)にエントリーしない者は中央大会に出場できない。
2. 全国インターハイに出場する選手でシード権を行使する種目については、すべて中央大会に出場できる。今大会に出場できないため、参加料を顧問に返金する。コールは受けなくてよい。ただし、4×100mRは今大会にオープンで出場できる。
3. 今大会のトラック種目上位24名、フィールド種目上位16名、が中央大会に出場できる。  
次の種目は以下の規定に従って中央大会に出場できる。
  - ・100mは今大会の決勝の各組上位6名まで
  - ・4×100mR・4×400mRは上位32チーム
  - ・競歩は、4つの地区の記録上位者とシード選手の合計30名。
  - ・トラック競技で、24位(リレー種目は32位)の記録が同じときは、1/1000秒の単位で判定する。それでも判定できない時は抽選とする。
  - ・出場の可否は、決勝記録の発表(放送・掲示・大阪高体連陸上競技専門部 web)で確認すること。  
今大会中に改めての連絡はしない。
  - ・今大会の申込人数がトラック種目24名以下、フィールド種目16名以下の種目(リレー種目は32チーム以下・競歩種目は全地区合わせて30名以下)にエントリーした者(チーム)は、全員が中央大会に出場できる。  
競技において欠場・コールもれ・失格などがあっても出場できる。
  - ・3・4地区の地区予選会のエントリー数が中央大会の出場規定数に不足する種目がある場合は、1・2地区予選会からその不足分を補充する。

#### 4. 中央大会の出場辞退について

- ・決勝記録の発表後、本大会中に地区主任に辞退届を提出すること。辞退届の提出なき場合は出場する意志があるものとする。今大会終了後の辞退は受け付けない。
- ・辞退届が提出された場合は、トラック25位、リレー33位、フィールド17位以降の者から補充する。ただし、決勝を行う100mは、決勝の各組7位の者で記録上位の者を補充する。(同記録の場合は抽選とする)

#### 5. リレーメンバーの変更について

- ・中央大会に出場するリレーのエントリーメンバーを、今大会のエントリーから変更する場合は、今大会終了までにリレーメンバー変更届を地区主任へ提出すること。(変更のある場合のみ提出すること。変更のない場合は提出の必要はない。)

#### 6. 中央大会の出場者の通知は、連絡事項とともに、8月4日(水)目途に顧問あてにメール送信する。

これを元に、参加者一覧表を作成のうえ、原則8月13日(金)に提出すること。

なお、その後の追加連絡は、随時、高体連 webpage に掲出予定のため、こまめにご確認ください。

#### 7. 中央大会への申込は、地区委員が行うので学校別に申し込む必要はない。個人種目一種目500円、リレー種目1,000円、プログラム代金一人500円(出場者責任購入のこと)を地区予選時に配付する振込用紙で8月10日(火)までに振り込むこと。その際、学校番号等、振込用紙に記載必要な項目はすべて記入すること。

#### 8. 新型コロナウイルス感染症に伴う救済措置

##### (1) 個人種目シード権獲得者に対する特別措置

シード権を放棄して地区予選会にエントリーした競技者が、地区予選会当日(7/22・23)に欠場した場合は、特別にシード権を保障し、大阪高校総体に出場できるものとする。

##### (2) 4×100mR および4×400mR に関する特別措置 (エントリー全チーム対象)

男女の4×100mR および4×400mR にエントリーしたチームが、地区予選会当日(7/22・23)に所属校が新型コロナウイルス感染症による休校等の措置のため、欠場となった場合は、大阪高校総体に出場できるものとする。(プライバシー保護の観点からチームメンバーが濃厚接触者など、個人の特定につながる救済は、原則として行わない。)

なお、上記2点に該当した際には、地区予選会終了までに、各地区主任へ必ず連絡すること。

◎本大会で使用した個人情報につきましては、本大会の目的以外に使用することはありません。